



コンパクト スタンダード コンプレッサー

取扱説明書



PC3-5.5T



PC4-5.5T



PC1-0.8T



PC3-5H PC3-10H

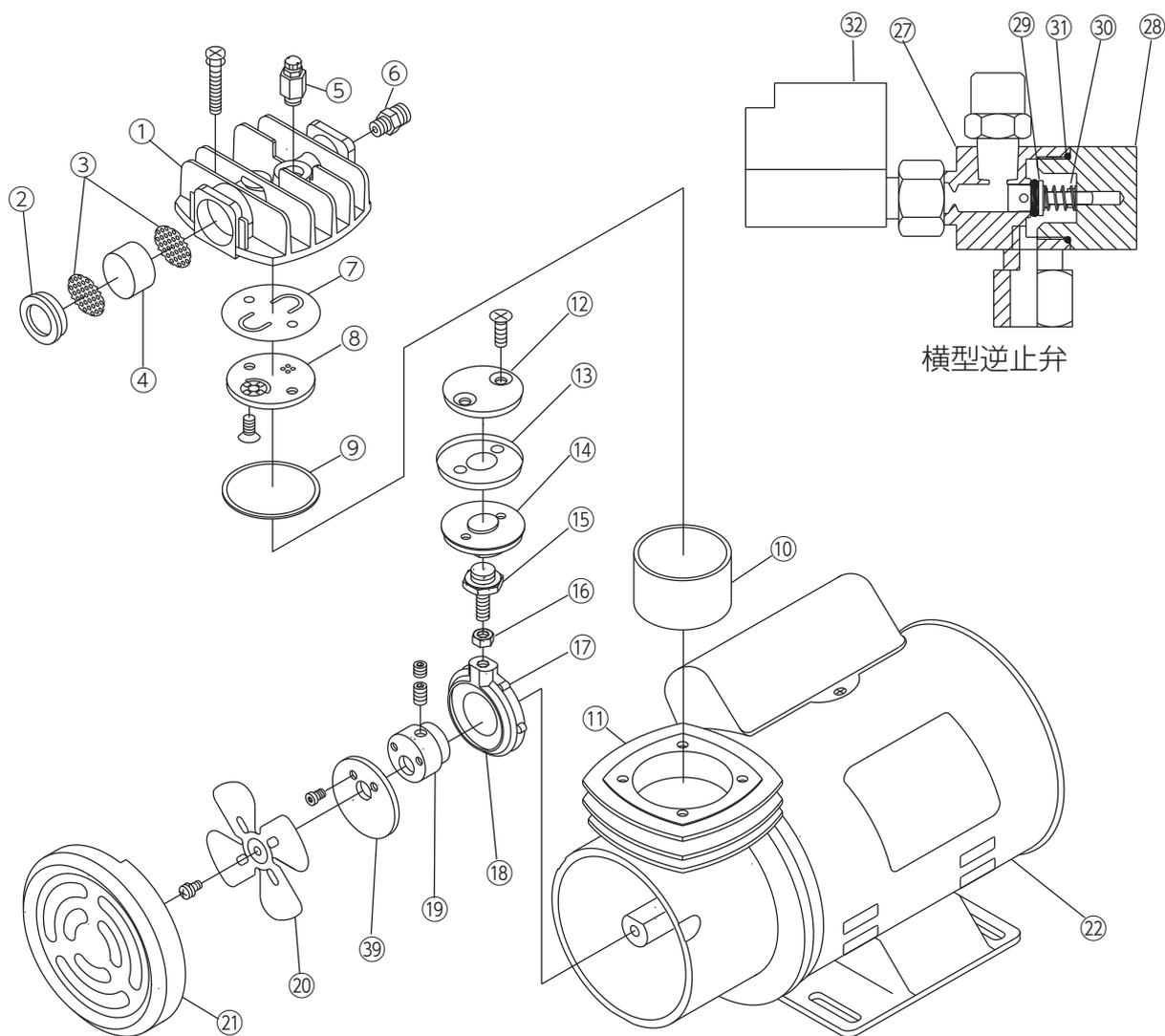


PC4-10H PC4-15H

1

仕様

型 式		PC1-0.8T	PC3-5.5T	PC3-5H	PC3-10H	PC4-5.5T	PC4-10H	PC4-15H
電 動 機	定格電圧 (V)	100						
	定格出力 (W)	65	200					
	定格周波数 (Hz)	50/60						
シリンダー	径×行程 (mm)	46×8	46×10					
	数	1	1				2	
空気吐出量 (L/min)	50Hz	5.8		9.5			19.0	
	60Hz	6.8		11.2			22.4	
圧力スイッチ	作動圧力 (MPa)	0.45	0.5					
	復帰圧力 (MPa)	0.6	0.65					
空気タンク容量 (L)		0.8	5.5	5	10	5.5	10	15
空気取出口口径 (Rc)		1/4 (メスネジ)						
騒音レベル Aスケール (dB) 1.5M		55	54			56		
概略寸法 長×幅×高 (mm)		210×220×310	290×300×400	420×190×420	430×200×445	330×300×405	430×200×450	465×215×490
重量 (kg)		9.0	13.0	16.0	17.0	15.5	19.5	21.0
サーキットプロテクター		○	×	○	○	○	○	○
焼損保護装置		×	○	○	○	○	○	○



2 運転するについて

2.1 ● 運転前の点検・確認

1. 設置場所は湿気・ゴミ・ホコリの少ない風通しのよい処にしてください。
2. 設置場所は、0～40℃の範囲にしてください。
(結露なき事)
3. 雨天での屋外使用はしないで下さい。(屋内用)
4. コンプレッサの上には物を置かないで下さい。
5. コンプレッサの付近には火気や揮発性可燃物(ガソリン・シンナー等)を置かないで下さい。

2.2 ● 運転中の点検・確認

1. 電源コードは正しく挿入して下さい。但し電球用ソケット及び分岐タップよりの蛸足配線はしないで下さい。
2. 異常音が出ていませんか？又はエアー漏れがしていませんか？よく確かめて下さい。
3. 異常があった場合は、電源プラグを抜いて原因を調べて下さい。
4. モーター内部に焼損保護装置(サーマル)が設けてあります。(PC1-0.8Tを除く)モーターに

過負荷がかかり、回転しない場合及び過熱(モーターフレームの温度:115℃以上)の場合は、モーター内部に内蔵されたサーマルが作動してモーターの焼損を防止します。このような場合は、元電源を切ってモーターフレームの温度が40℃位に降下(約30分経過)したらリセットボタン(赤色)を押して、電源プラグを入れて起動して下さい。ただし、PC4型は、自動復帰型になっています。約30分経過してモーターフレームの温度が40℃位に降下したら電源プラグを入れて起動して下さい。

※スイッチ付サーキットプロテクターが作動した場合過電流によりサーキットプロテクターが作動した場合、原因を取り除いたのち(約10秒後)スイッチを「ON」にして起動して下さい。

2-3 ● 運転後の点検・確認

作業終了後はタンク内の水分をドレンコックより放出して、電源コードを抜いて下さい。

3 コンプレッサーの保全

- 3.1** 吸込口フィルター③④部分にホコリやゴミが詰まりますと空気の吸込みが悪くなり圧力の上がりが遅くなりますので、月に1度位ホコリを落して下さい。あまり汚れた場合は新品と交換して下さい。
- 3.2** 圧力が上がらなかつたり、時間がかかる場合には、テフロンバルブ⑦、ピストンリング⑩等を新品と交換が必要です。なおシリンダーパッキン⑨も一緒に交換が必要です。
- 3.3** タンク内の空気圧がストップバルブ及タンクドレンコックを閉めてもなおタンク内の空気が漏れる場合は逆止弁バルブ⑨の交換が必要です。
- 3.4** モーター焼損保護装置が連続して作動する場合（リセットボタンをなんども続けて押すような状態）は、コンプレッサー運転部分になんらかの故障がありますので至急に分解点検の必要があります。

4 故障の原因とその処置

	故障の種類	原因	処置
起動する	最高圧力まで上がらない 又は時間がかかる	テフロンバルブの破損、又は作動不良	販売店に相談
		シール不良	販売店に相談
		ネジ部又は配管部の緩み	締め直す
		ピストンリングの摩耗、作動不良	販売店に相談
起動する	最高使用圧力以上に上がる	圧力スイッチ及び安全弁の作動圧力の不良	販売店に相談
		各部分のネジの緩み	締め直す
		ピストン上部がバルブ板にあたる	販売店に相談
		モーター及びロットリングのベアリング部分の緩み	販売店に相談
起動しない	異常音がする	電圧の低下	電気工事店に相談
		コンプレッサーの異常	販売店に相談
		モーター焼損装置が作動	リセットボタンを押す
		断線又は接続不良	配線部点検
起動しない	電動機がうる	電動機の故障	販売店に相談
		電圧の低下	電気工事店に相談
		コンプレッサーの異常	販売店に相談
		電動機の異常	販売店に相談

5 保証

本機は厳重な品質管理と検査工程を経て作られた製品です。タンクの耐圧試験圧力は0.9MPaで実施しております。

納入日から、一年間を保証期間と致します。

ただし、次の場合は保証から除外されます。

- 経時変化あるいは使用消耗により発生する不具合（塗装・メッキ等の自然退色、消耗部品の劣化など）
- 本製品の品質、機能上影響のない軽微な感覚的現象

- 地震・台風・水害・落雷などの天災又は事故、火災など

- お客様による改造など

- 純正部品以外の使用

- 保守点検上の不備または間違い

- 弊社以外の整備

- この製品のご使用中に発生した故障に起因する種々の出費、その他二次的損害の補償

※本装置の補償は、日本国内で使用する場合に限ります。

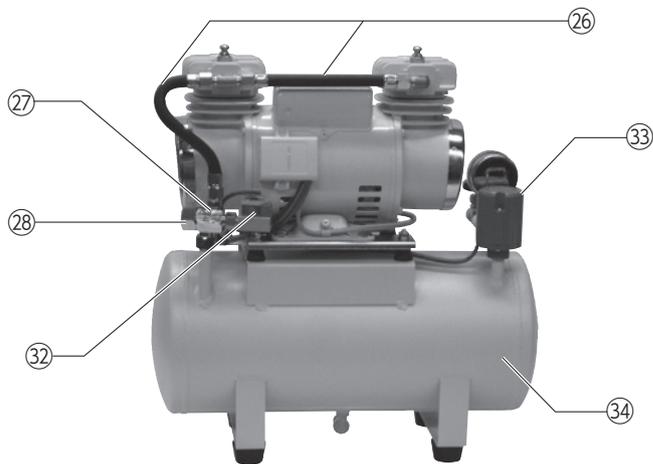
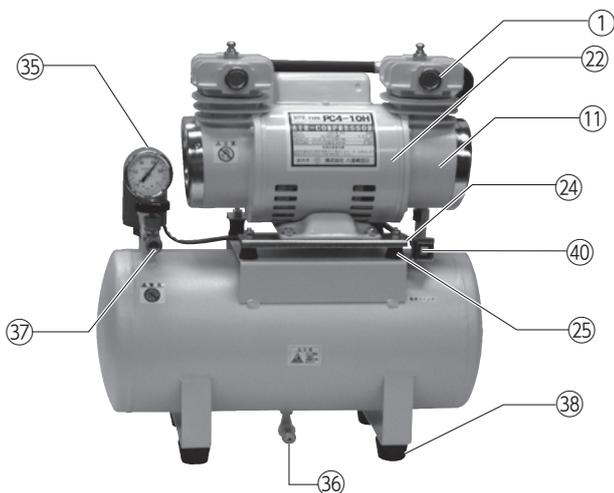
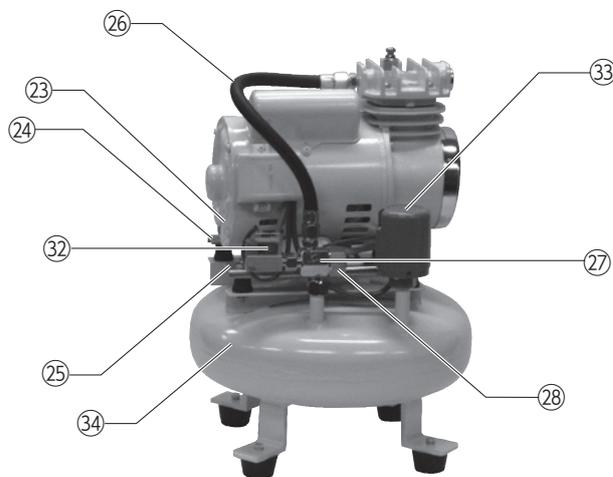
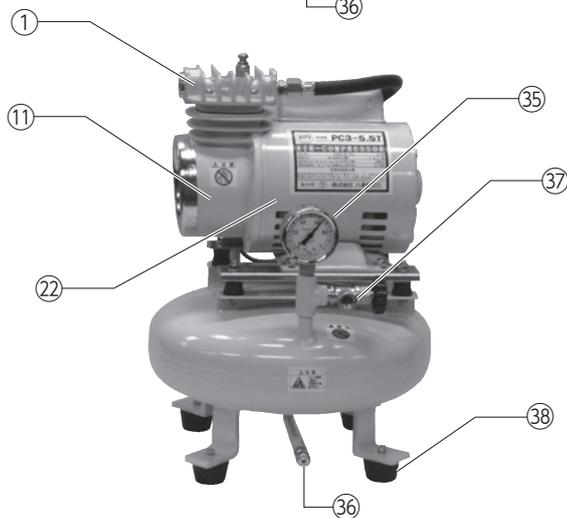
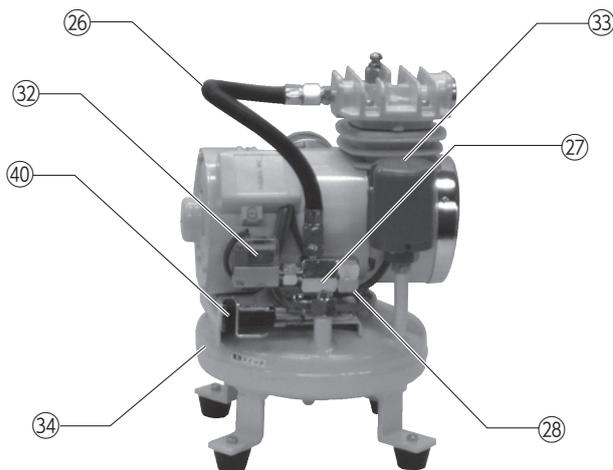
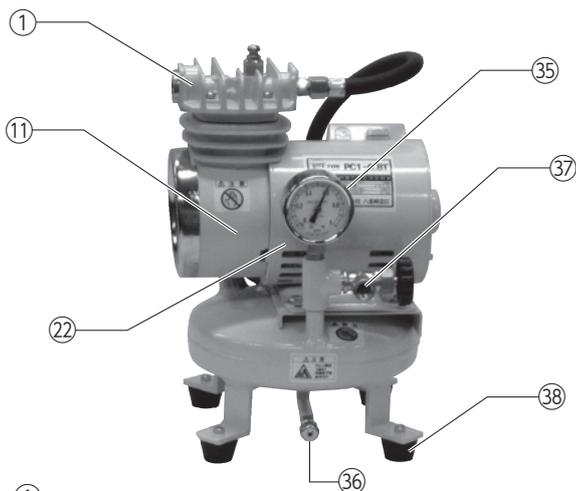
株式会社 八重崎空圧

〒131-0043 東京都墨田区立花5丁目8番8号 TEL. (03)3610-1652(代) FAX. (03)3610-1653

● URL <http://www.yaezakiku-atu.co.jp/> ● E-mail hohmi@yaezakiku-atu.co.jp

部品名称一覧

- | | | | |
|---------------|---------------|------------------|-----------------|
| 1. ヘッドカバー | 11. ケース | 21. ケースカバー | 31. 逆止弁パッキン |
| 2. 空気取入口 | 12. ピストンリング押え | 22. モーター | 32. 残圧排気弁 |
| 3. 吸込押え板 | 13. ピストンリング | 23. モーター用リセットボタン | 33. 圧力スイッチ |
| 4. 吸込フィルター | 14. ピストン | 24. レール | 34. エアータンク |
| 5. 安全弁 | 15. ロット | 25. 防振ゴム | 35. 圧力計 |
| 6. ニップル | 16. ロットナット | 26. 空気導入ゴムホース | 36. ドレンコック |
| 7. テフロンバルブ | 17. ロットリング | 27. 逆止弁本体 | 37. 空気取出口 |
| 8. バルブ板 | 18. ロットベアリング | 28. 逆止弁ガイド | 38. 足ゴム |
| 9. シリンダーパッキン | 19. エキセン | 29. 逆止弁バルブ | 39. エキセンバランス |
| 10. シリンダーライナー | 20. 冷却ファン | 30. 逆止弁スプリング | 40. サーキットプロテクター |





警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡したり重傷を負う恐れがある内容を示しています。



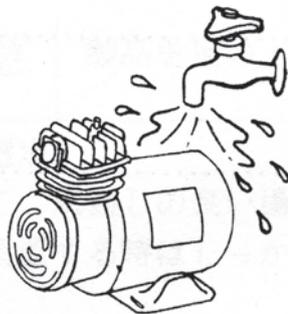
圧縮空気は高圧のため、目、口、鼻、耳等に向けて、やたらに噴霧しないこと
(人体に多大の影響をきたす恐れがあります)



お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜くこと。また、ぬれた手で抜き差しをしないこと
(感電やけがをすることがあります)



水につけたり、水をかけたりしないこと
(ショート、感電の恐れがあります)



修理技術者以外の人には絶対に分解したり修理、改造はしないこと
(異常作動してけがをすることがあります)

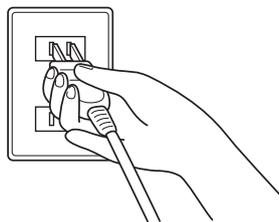


注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示しています。



電源プラグを抜くときは電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜くこと
(感電やショートして発火することがあります)



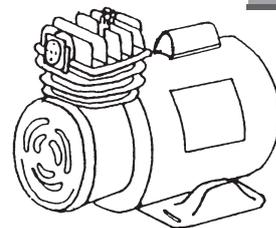
交流 100V 以外では使用しないこと
(日本国内専用です)



NO!



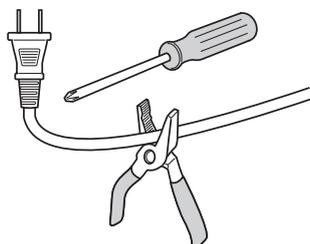
NO!



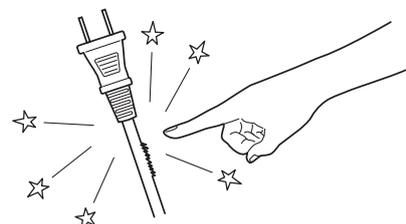
100V



電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないこと
(火災、感電の恐れがあります)



電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるい時は使用しないこと
(感電、ショート、発火の原因になります)





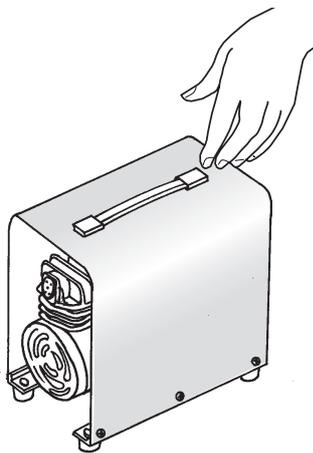
注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示しています。



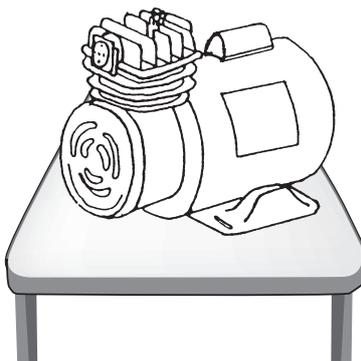
移動する際は絶対に落さないこと

(足の上に落すと
けがをします)



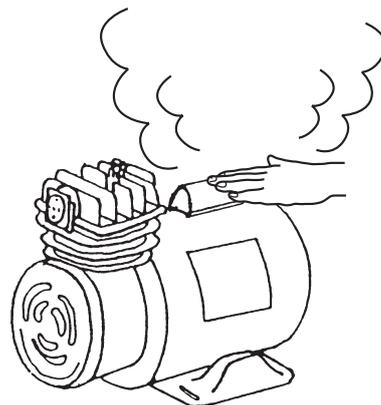
高い所に設置する際は落下しないように固定すること

(落下するとけがをします)



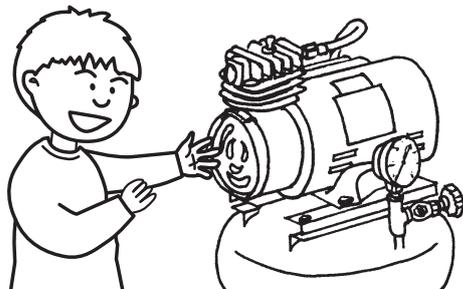
コンプレッサーのヘッドカバーやモーターフレームは高温になるので手をふれないこと

(けがをする恐れがあります)



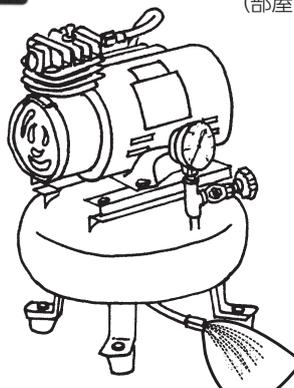
**ケースカバーの中や可動部へ指や棒等を入れぬこと
特に小さなお子様には注意してください**

(けがをする恐れがあります)



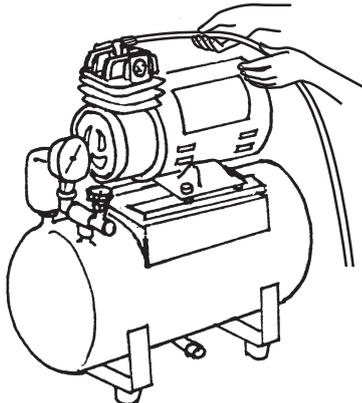
タンクドレンコックをあける際はドレン液を受ける入れ物を置くこと

(部屋を汚す恐れがあります)



空気導入ホースをもってコンプレッサーを動かさぬこと

(けがをする恐れがあります)



使用する際は必ずアース線を接続すること

(感電の恐れがあります)

